

ニホンジカによる生態系への影響

- ニホンジカの分布拡大、増加に伴い、国立公園等の生物多様性保全上重要な地域で生態系への影響が深刻化している（表）。

表 国立公園におけるニホンジカによる生態系への影響

国立公園名	シカの分布状況 (注1)	シカの影響の有無			影響の種類					
		農林業被害	生態系影響	特に影響なし	下層植生の減少・消失	特定の群落や種の減少・消失	不嗜好植物の増加	樹皮剥ぎによる林木の枯死・草原化	表土流出・斜面崩壊	湿原の攪乱
利尻礼文サロベツ	A		○		○	○		○		○
知床	A		○		○	○	○	○		○
阿寒	A	○	○				○	○		
釧路湿原	A	○	○		○			○		○
大雪山	A		○		○	○		○		
支笏洞爺	A		○		○	○		○	○	
十和田八幡平	B			○						
陸中海岸	A	○	○		○	○		○	○	
磐梯朝日	D			○						
日光	A	○	○		○	○	○	○	○	
尾瀬	A		○		○	○		○		○
上信越高原	A	○			○	○		○		○
秩父多摩甲斐	A	○	○		○	○	○	○		
富士箱根伊豆	A	○	○		○	○	○	○	○	
中部山岳	A		○					○		
白山	D			○						
南アルプス	A		○		○	○	○		○	
伊勢志摩	A	○	○		○	○				
吉野熊野	A	○	○		○	○	○	○	○	
山陰海岸	A			○						
瀬戸内海	A		○		○	○	○	○	○	○
大山隠岐	B	○						○		
足摺宇和海	A		○		○	○		○		
西海	A	○	○		○	○	○	○	○	
雲仙天草	D			○						
阿蘇くじゅう	A	○			○			○	○	
霧島屋久	A	○	○		○	○	○	○	○	○

(注1) A:分布, B:希に出現, C:生息無し, D:生息の有無不明

網掛けした地域は、シカが生息しない地域。

(注2) 霧島屋久国立公園は平成24年3月に霧島錦江湾国立公園及び屋久島国立公園に分割されているが、分析に使用したデータが分割前のものであったため、霧島屋久国立公園として記載している。

(注3) 小笠原国立公園及び西表石垣国立公園はシカが本来生息せず、影響がないため、対象外としている。

※地方環境事務所等を対象として実施したアンケート調査により把握したもの

平成 23 年度国立公園等ニホンジカ生息状況調査業務報告書(環境省自然環境局)より改